



公明党 永尾 邦忠 議員

▼生活雑排水による側溝や小川の汚染と悪臭について

Q 側溝や小川の汚染状況と、異臭が発生した場合の解決方法は何か。

A 側溝の水質等は調査していないが、河川、ため池の計四十地点で年二回調査を行っている。その結果、河川一地点、ため池三地点が著しい汚濁、河川二十四地点、ため池十一地点が汚濁、やや汚濁となっている。

苦情が寄せられた場合、保健所などと連携し、現地に出向き原因究明に努めている。原因が特定できる場合には原因者に対し改善をお願いしている。また、側溝の異臭対策は修繕などで適宜対応している。

Q EM菌を活用した河川の浄化状況の推移はどうなっているのか。

A 環境基準の検査項目では水質が改善したという明確な数字の変化はないが、川底や河口付近のヘドロの状況が改善され、きれいになったとの声や、側溝のヘドロやにおいが少なくなったとの声もあっている。

▼施政方針について

Q 子ども手当の拡充実施で、本市はどのように予算計上したのか。

A 本市は当初予算で約十億円の予算を計上している。三歳未満児の増額部分は全額国庫負担となるので、支給総額はふえるが、市の負担額は二十二年度とほぼ同額である。

Q 公共交通の実証運行を冬場ではなく、人の動きのある時期にできないのか。

A 国の補助金なので、交付決定の時期によつて実施期間が限られてくる。二十三年度は国自体の国庫補助制度の見直しがされているので、できるだけ早期に実証運行には取り組んでいきたいと思う。

Q 命のカプセルの配布時期と、不育症患者への財政的支援は考えているのか。

A 命のカプセルは二十二年度の三月補正予算で計上しているが、対象者への配布は二十三年度になってからになると思う。

不育症については、厚生労働大臣が不妊治療法が確立され安全性が確認されれば、保険適用を考えたいとの発言があつているので、現時点での補助等は考えていない。

【その他の質問項目】

◇市民の力を生かす「ボランティア・ポインタ制度」について



社会民主党 松本 匠 議員

▼住宅リフォーム支援事業について

Q 住宅の質の向上、長寿命化の促進を図り、産業の活性化及び雇用の安定化のため、住宅リフォーム支援事業を実施できないか。

A これまで省エネ化を目的とした太陽光発電設備費への補助制度、また、バリアフリー化のために高齢者、障害者の方に対し、高齢者・障害者住宅改造費助成事業及び介護保険認定を受けていない特定高齢者に対して特定高齢者等住宅改造費助成事業などを行っている。二十三年度から耐震化を目的とした既存の木造戸建て住宅を対象とした耐震改修に係るリフォーム支援事業を実施する。なお、一般的な住宅リフォーム支援事業については、引き続き研究したい。

▼健康づくり推進事業について

Q 新たに設けられる健康づくり推進員は、みずから学習しながら行政と市民のパイプ役的存在だと理解しているが、ボランティアと位置づけた理由と、行政、市民、住民

各種団体との関連性はどうか。

A 現在、食生活改善推進事業やウォーキング教室、室内運動教室等において、ボランティアとして活動されている方が数多くおられる。その方々を初め、市民の方に健康づくり推進員（仮称）となるための養成講座を受講していただき、健康づくり事業の協力者を育てていきたい。また、養成講座を修了された方には、身につけた健康づくりの知識をもって、みずから実践していた、だくとも、それぞれが所属している町内会、自治会、各種団体等において、健康づくりの輪を広げる活動を市と協働して進めていただきたい。

Q 保健師、栄養士の活動の強化や保健センターの機能充実が求められるが、見解は。

A 現在、特定健診、特定保健指導、各種がん検診、予防接種事業、健康教育などを実施し、市民が健康で生き生きと暮らすことができるような健康づくり事業として取り組んでいる。保健師、栄養士の活動強化と保健センター機能の充実については、各種専門研修に積極的に参加し、保健師、栄養士の資質向上を図りながら、保健事業をさらに充実させたい。

【その他の質問項目】

◇有明海再生について